

東京工芸大学が ウェブアクセシビリティ向上に向けた取り組みを開始 —W3C勧告及び日本産業規格適合レベルAA対応を目指す—

東京工芸大学(学長：吉野弘章、所在地：東京都中野区、以下本学)は、創立100周年の取り組みとして、本学公式ウェブサイトにおけるウェブアクセシビリティ向上に向けた取り組みを開始しました。

本学では心身の機能や利用する環境に関係なく、誰もが快適に利用できるサイト作りを率先して目指してまいります。

本学では、これまでウェブサイト上の視認性向上のための十分な色彩コントラスト比の確保や、スクリーンリーダーへの配慮、キーボード操作や拡大表示への対応など、誰もがどのような環境でも快適にご利用いただけることを目指して日々ウェブアクセシビリティにおける改善を進めてきました。2022年度に行ってきた改善が概ね完了したため、第三者検査機関において、ウェブサイトのアクセシビリティ検査を実施しました。その結果、2023年3月24日(金)にウェブサイト及びウェブアプリケーションについて、適用規格に適合していることが証され、検査結果及び適合証明書が発行されました。検査結果及び適合証明書は本学公式ウェブサイトで4月1日(土)から公開しています。

本学はこれからも、本学公式ウェブサイトにおけるウェブアクセシビリティ向上に向けた改善及び定期的な検査を行い、心身の機能や利用する環境に関係なく、誰もが快適に利用できるサイト作りを進めてまいります。

本ウェブサイトが目標とする概要は、以下のとおりです。

【本学におけるウェブアクセシビリティについて】

- ・ウェブアクセシビリティ方針：本学公式ウェブサイトは、心身の機能や利用する環境に関係なく、誰もが快適にご利用いただけるよう、W3C勧告「WCAG 2.1」及び日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」適合レベルAA対応を目指します。
- ・対象範囲：東京工芸大学ウェブサイト (<https://www.t-kougei.ac.jp/>) の配下で、可能な限り多くのページを適合させていくことを目標とします。
- ・目標とする適合レベル：W3C勧告「WCAG 2.1」及び日本産業規格「JIS X 8341-3:2016」適合レベルAA。
- ・ウェブアクセシビリティ対応のために実施する活動
 - ・ウェブアクセシビリティ関連のガイドラインの整備
 - ・新規ページでは設計段階からの適合性の確認の実施
 - ・第三者による主要ページに対する適合性の確認
- ・対応状況：(2023年4月1日現在検査結果) https://www.t-kougei.ac.jp/web_accessibility.html

本学は1923年財団法人小西写真専門学校として誕生し、2023年、創立100周年を迎えました。本学は創立当初から、情報を一目でわかりやすく伝えることができる写真というメディアに着目し、テクノロジーとアートを融合させた教育を率先して行ってきました。その理念は今も根幹として息づいています。

「テクノロジーとアート、掛け合わせて、未来を変える」。東京工芸大学は、テクノロジー(工学)とアート(メディア芸術)を融合し、これからも未来に向けてさらに挑戦してまいります。

■ウェブアクセシビリティとは

ウェブアクセシビリティとは、高齢者や障害者を含め、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できることを意味します。

■東京工芸大学

東京工芸大学は1923(大正12)年に創立した「小西寫真(写真)専門学校」を前身とし、当初から「テクノロジーとアートを融合した無限の可能性」を追究し続けてきました。2023年に創立100周年を迎えました。

【本学公式WebサイトURL】 <https://www.t-kougei.ac.jp/>

【本学創立100周年特設サイトURL】 <https://100th.t-kougei.ac.jp/>

【学部学科構成】

・工学部

工学科

総合工学系：機械コース、電気電子コース、情報コース、化学・材料コース

建築学系：建築コース

・芸術学部

写真学科、映像学科、デザイン学科、インタラクティブメディア学科、アニメーション学科、ゲーム学科、マンガ学科

■関連記事：

「東京工芸大学が「全国大学スマホ・サイトユーザビリティ調査」で対象となった全国270大学中 全国2位、関東地区1位になりました」

https://www.t-kougei.ac.jp/activity/pr/uploads/2022/11/usability2022_2023%20.pdf



適合証明書

東京工芸大学：2022年10月31日検査開始分

標記ウェブサイト及びウェブアプリケーションは、当社の検査の結果、下記のとおり¹⁾の適用規格に適合していることを証します。

記

適用規格	JIS X 8341-3:2016 (ISO/IEC 40500:2012), WCAG 2.1	
対象品目	東京工芸大学：2022年10月31日検査開始分	
適用範囲	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知覚可能な原則要件 2. 操作可能な原則要件 3. 理解可能な原則要件 4. 堅ろう（牢）（Robust）の原則要件 5. 適合要件（規定） 	
適合証明	発行日	2023年03月24日
	ガイドライン名、バージョン及びURI	Web Content Accessibility Guidelines 2.1 (https://www.w3.org/TR/WCAG21/)
	満たしている適合レベル	AA
	対象となるウェブページ	検査証明書に記載
	依存しているウェブコンテンツ技術	検査証明書に記載
登録番号	IFC20221530-00	
検査日時	検査証明書に記載	
検査対象品目所有者	東京工芸大学	
検査依頼者	東京工芸大学	
その他注意事項		

- 本適合証明書は、付属の検査証明書、達成基準チェックリスト、達成方法チェックリスト一式となります。一部を複写等による使用はできません。
- 本適合証明書は、付属の検査証明書で、「適合レベル及び検査結果」が「適合」となっている「検査対象品目（URL）」に対して有効です。

株式会社 インフォ・クリエイツ
代表取締役

出澤 研太 

[> サイトマップ](#) > [ウェブアクセシビリティに関するご意見](#) 

